

技術開発部報告書情報シート

記入年月日：2011年4月20日

情報No	K-11-1	情報区分	プラ処理協研究報告	ファイリング場所	プラ処理協書棚
------	--------	------	-----------	----------	---------

題名	平成22年度使用済プラスチックのリサイクルに関する技術開発				
報告書名	(PO系複合廃材の叩解技術によるマテリアルリサイクル技術の開発)				
報告年月	2011年3月	ページ数	75	著者・出版元	プラ処理協

【キーワード】

処理方式	高速遠心叩解技術	要素技術	叩解、振動篩、気流分離
樹脂類別	PE樹脂、PET繊維	化学物質名	
形状別	フロア材	用途別	自動車積層部品端材
法規制		国別	日本

調査研究内容	<p>自動車部品に使用されているフロア材を代表とする積層品の生産工場が発生する端材はこれまで埋立か焼却処分されていた。叩解技術を用いてフロア材の6割を占めるPE樹脂を高純度・高収率で回収し、これをフロア材の原料として利用可能とする事で省資源・環境負荷低減に貢献する。</p> <p>目標：遮音用フロア材由来のPE樹脂を遮音タイプ製品に再利用する。 PE純度 95%以上 回収率 65%以上</p>
調査研究結果	<p>叩解技術により分離回収したPEはその純度が96% 回収率が74% と数値目標を大幅に上回った結果が得られた。回収したPE再生材を現行品に40%混合した原料で適用部品の要求品質を満足する結果が得ており目標を達成した。又、経済性評価の結果、80トン/月以上の処理量が集まれば事業性があることも試算された。</p>
備考	<p>報告書本文部は英文翻訳版もあります。</p>